

令和4年6月16日（木曜日）

予算決算委員会文教・子育て分科会

第2委員会室

出席委員

坂本 学、小林由朗、有馬剛朗、山口 悟、  
常盤真功、酒上太造、村原守泰、伊藤大典、  
竹中由佳

【文教・子育て委員会（教育委員会）の審査】

開会 10時59分

教育委員会 10時59分

送付議案説明

・議案第49号 令和4年度姫路市一般会計補正予算（第3回）

質疑 11時01分

（質問）

学校給食地元産食材提供事業において、子どもたちが地元の食材を食べるのは1回だけと考えてよいのか。

（答弁）

同事業は2学期以降に実施する予定で、まず食育の日である10月19日及び11月18日に、全校一斉に姫路産のタマネギを取り入れた献立を提供するほか、スズキやマダイなどの水産物についても、地元産の食材として年度内に献立に盛り込んでいく予定である。

児童や保護者には、給食だよりの中で、該当日の献立に姫路産タマネギを使用していることを周知する。

水産物については、今のところどのようなものになるかは未定である。2学期以降年度末までの間に、給食の予算内で対応できる価格で大量に捕獲できる水産物とする予定である。

実績としては、令和3年度はタイ、令和2年度はハモであり、いずれも坊勢産であった。

（要望）

給食だよりで、給食で地元産の食材を使ったことが分かるようにして、家庭で地元産の食材についての話が十分にできるよう、子どもたちの食育のために頑張ってもらいたい。

（質問）

地元産の水産物を給食に提供するととなると、かなり

の量になると思うが、全て姫路産で賄えるのか。

（答弁）

姫路産とは姫路市で水揚げされたものということで、1事業者を想定しており、全学校に捕獲から配送まで実施してもらう。

（質問）

学校給食地元産食材提供事業費地方創生臨時交付金として歳入予算で計上されている1,080万円は、必要経費の何%を占めるのか。

（答弁）

地方創生臨時交付金は、複数のメニューを元に市に交付されており、総額を他事業との割り振りをした後に当該事業分として財源配分されるもので、必要経費の割合に応じて交付されるものではない。

（質問）

国から交付されたものを市内部で財源配分した額ということなのか。

（答弁）

そのとおりである。

（質問）

同事業以前に、学校給食で地元産食材を使用する場合、具体的な数値目標を設定していたのか。

（答弁）

食材の確保については、まずは姫路産、次に兵庫県産を使用し、それで確保できなければその他の地域の食材を調達するという原則で行っており、条件が合えば地産地消の食材を使用するという方針である。

実績として、タマネギについては、令和4年度の姫路産使用率は5.8%、兵庫県産を合わせると42.9%である。令和2年度の姫路産使用率は7.5%、兵庫県産を合わせると23.7%となり、年度によってばらつきがある。

学校給食で使用している米については、令和3年度の姫路産使用率は100%である。

（質問）

当該事業の終了後、学校給食に地元産食材を提供する事業は継続するのか。

（答弁）

今後についても、産業局と連携しながら進めていきたい。

（要望）

今回限りの事業となると、当該事業で支援した漁業者や農業者などが、地産地消に協力してくれるルートを断つことになるので、今後も継続して事業を実施してもらいたい。

(質問)

今後、学校給食に地産地消の食材を使用する際に、具体的な数値目標を入れて取り組む予定はあるのか。また、数値目標というのは、季節や年度によって変わるものなのか、それとも一定の指標というものがあるのか。

(答弁)

保健所が作成しているひめじ食育推進プランの中に、学校給食に使用する野菜（8品目）の姫路市産使用の重量割合という指標がある。

レンコン、シュンギク、コマツナ、ホウレンソウ、ミズナ、トマト、チンゲンサイ、ネギ、これら8品目を評価指標として定めており、年間使用率の目標値を60%と設定している。

品目の指定があり、できるだけ地元産を使いたい、生産量が伴わずに調達しようにも調達できないという品目も出てきている。

米に関しては100%であるが、ないものは買えないので、今後、市や兵庫県において、どのような品目で生産量が上がっていくかということにも密接に関係している。

極力、地元産を使っていきたいと考えている。

(質問)

当該事業の食材調達の入札において、地元産の食材がそろわなかった場合、どのような条件で食材を確保する予定なのか聞かせてもらいたい。

(答弁)

業者に姫路産の食材を調達できるかどうか事前に確認をしてから、姫路産の食材を使用するのであれば姫路産と明記して仕様書を作成し、業者選定のための見積り合わせ、入札を行う予定である。

(要望)

せっかくの機会なので、同事業において、地元産食材の使用は1回ではなくて複数回行うほか、魚の旬の時期も変わってくることから、いろいろな魚を提供してほしい。

その都度、産業局と打合せをしながら進めてもらい

たい。

**教育委員会終了**

**11時19分**

【文教・子育て委員会（こども未来局）の審査】

【文教・子育て委員会の意見取りまとめ】

**意見取りまとめ**

**12時06分**

・分科会長報告について

正副分科会長に一任すべきものと決定。

**閉会**

**12時07分**